

首里城復元のための関係閣僚会議（第3回） 議事録

日 時：12月11日（水）10:00～10:15

場 所：官邸4階大会議室

出席者：菅 義偉 内閣官房長官（議長）
衛藤 晟一 内閣府特命担当大臣（沖縄及び北方対策）
赤羽 一嘉 国土交通大臣
麻生 太郎 財務大臣
長谷川 岳 総務副大臣（代理出席）
上野 通子 文部科学副大臣（代理出席）
加藤 寛治 農林水産副大臣（代理出席）

（衛藤内閣府特命担当大臣）

ただいまから、首里城復元のための関係閣僚会議を開催いたします。お忙しい中、お集まりいただきまして、誠にありがとうございます。

それでは議事に入ります。

まず始めに、下野内閣官房内閣審議官より、首里城復元に向けた基本的な方針案について、御説明をお願いいたします。

（下野内閣官房内閣審議官）

それでは御説明させていただきます。お手元の資料「首里城復元に向けた基本的な方針（案）」を御覧ください。

今般焼失した首里城は、沖縄県民のアイデンティティの拠り所として大切にされてきた、沖縄の方々の誇りであるとともに、日本の城郭文化の概念を広げる国民的な歴史・文化遺産である、極めて重要な建造物である。

政府は、首里城の早期の復元に向けて、首里城復元のための関係閣僚会議及び幹事会を開催し、沖縄県やこれまで復元に携わってきた有識者の参画を頂きながら議論を進めてきた。これまでの議論を踏まえて、一日も早い首里城の復元に向けて、以下の基本的な方針に基づき、取組を進めていくこととする。

- （1）首里城の今般の復元に向け、詳細な時代考証に基づく前回復元時の基本的な考え方を踏襲して首里城を復元していくこととする。すなわち、首里城正殿について、1712年に再建され、1925年に国宝指定されたものに復元することを原則とする。
- （2）その上で、前回復元後に確認された資料や材料調達の状況の変化等を反映するとともに、今般の火災を踏まえた防火対策の強化等を行う。
- （3）前回の復元計画にできる限り沿って復元できるよう、政府一丸となって木

材や漆などの資材調達に取り組むとともに、沖縄独特の赤瓦の製造や施工等について、前回復元時から沖縄県内に蓄積、継承されている伝統技術を活用するための支援を行う。

(4) これまで復元に携わってきた沖縄の有識者の方を含めた技術的な検討の場を内閣府沖縄総合事務局に設け、国土交通省等の関係省庁と連携しつつ、沖縄県民の意見を十分に反映できるよう沖縄県の参画を得ながら検討を進める。

(5) 首里城跡の世界遺産登録に悪影響が及ばないように、政府として、引き続き、国際連合教育科学文化機関（ユネスコ）と緊密に連携しながら進める。

政府は、上記の基本的な方針の下、関係省庁における検討を進め、技術的な検討の場における議論も踏まえて、本年度内を目途に、首里城正殿等の復元に向けた工程表の策定を目指す。

政府として、引き続き、沖縄県や地元の関係者、有識者の方々と共に、国営公園事業である首里城の復元に向けて、予算措置を含め、必要な措置を講じていくとともに、観光振興や復元過程の公開等の地元のニーズに対応した施策を推進するなど、責任を持って取り組むこととする。

以上でございます。

(衛藤内閣府特命担当大臣)

ありがとうございました。只今説明のありました、首里城復元に向けた基本的な方針案につきまして、本関係閣僚会議の決定としたいと存じますが、御異議ございませんか。

(異議無しの声)

ありがとうございます。それでは、只今の案を首里城復元に向けた基本的な方針として、この関係閣僚会議の決定といたします。

関係閣僚会議の初回から1ヶ月程度の間、基本的な方針を取りまとめられたことは、関係者の御協力、御尽力の賜物と思います。

私としても、沖縄振興を預かる立場として、早期の復元に向けて、全力で取り組んでまいり所存です。

次に、赤羽国土交通大臣より、御発言をお願いいたします。

(赤羽国土交通大臣)

国土交通省は、国営公園事業、観光振興に責任を持つ立場として、基本的な方針をしっかりと受け止め、首里城の復元に全力で取り組んでまいります。

私からは、まず、首里城復元に向けた技術的な検討の場の立ち上げに向けた調整状況について御報告させていただきます。検討の場には、これまで復元に

携わってこられました沖縄の有識者の方々に加えまして、防火対策や観光の有識者などや、沖縄県、また関係省庁にも参画いただく形で、具体的な調整を進めております。有識者の皆様の御都合がつき次第、年内を目途に、速やかに第1回会合を沖縄で開催いたします。

今後、この技術的な検討の場において、関係省庁にも御協力を頂きながら、木材の調達や防火対策などの課題について議論を行い、本年度内を目途に、首里城正殿等の復元に向けた工程表の策定を目指してまいります。

また、これまで立入禁止となっていた国営公園の一部区域につきまして、本日11日中に施設の仮復旧等の作業を終え、明日12日より公開を再開する予定ですので、御報告させていただきます。これによりまして、西側の西のアザナの展望デッキや、南側の京の内物見台などを楽しんでいただけるようになるほか、被災した奉神門なども、より近くで御覧いただけるようになります。

今後とも、首里城の復元を沖縄の観光振興に活かしていくため、首里城復元の過程を見ていただくような取り組みなど、県や地元のニーズを丁寧に伺いながら、きめ細やかな対応を行ってまいります。以上でございます。

(衛藤内閣府特命担当大臣)

ありがとうございました。続いて、加藤農林水産副大臣より御発言をお願いいたします。

(加藤農林水産副大臣)

農林水産省といたしましても、首里城の早期復元に向けて、本日取りまとめられた基本的な方針に基づき、設置される技術的な検討を行う場に協力をしてまいりたいと思います。今後沖縄総合事務局に設置される技術的な検討を行う場における木材やウルシなどの資材調達等の議論に資するよう、内外における利用可能な木材の材質や流通の状況、調達可能性などを幅広く把握し、情報提供してまいります。その上で、有識者の方々の御意見を踏まえながら、首里城の復元に必要となる木材やウルシなどの資材の確保に向けて、国有林材の活用を含め、しっかりと対応してまいります。以上です。

(衛藤内閣府特命担当大臣)

ありがとうございました。続いて、上野文部科学副大臣より御発言をお願いいたします。

(上野文部科学副大臣)

先月11月15日の私とロスラー・ユネスコ世界遺産センター長との会談では、出火原因・被害状況等が判明しましたらユネスコに報告してほしいという要請などがありました。また、文部科学省としましては、現在、沖縄県教育委員会及び沖縄総合事務局国営沖縄記念公園事務所とも連携しながら、史跡首里城跡の遺構の被害状況等についても確認を進めているところであり、復元に向けた今後の議論も踏まえつつ、引き続き、ユネスコへの丁寧な相談・調整を行ってまいりたいと考えております。

また、首里城復元に必要な技術者の人材育成等についても支援してまいります。

さらに、消防庁をはじめとする関係府省と連携し、総合的かつ計画的な文化財防火対策を進めていきたいと考えております。具体的には、今後、首里城の火災等を踏まえて文化財の防火対策ガイドラインを改訂するとともに、補正予算など多様な財源の確保に努め、世界遺産・国宝等において必要となる防火対策の推進を計画的に支援してまいりたいと考えております。

(衛藤内閣府特命担当大臣)

ありがとうございました。続いて、長谷川総務副大臣より御発言をお願いいたします。

(長谷川総務副大臣)

火災の原因については、建物の焼損がひどい状況の中で、管轄の那覇市消防局や沖縄県警に消防庁も協力し、現在も調査を継続しているところであります。これまでのところ、出火原因は電気系統によるものが有力と考えておりますけれども、その他の可能性を含め調査を行っているのと那覇市消防局から聞いております。

また、文化財の防火対策を徹底するため、文部科学副大臣からお話のあった、防火対策ガイドラインの改訂等に協力するとともに、その実効性を高めるための訓練マニュアルを策定するなど、文化庁と連携して対応してまいります。

引き続き、火災の原因究明と文化財の防火対策を推進してまいります。

(衛藤内閣府特命担当大臣)

ありがとうございました。

それでは、最後に菅内閣官房長官から御挨拶を頂きますが、プレスが入りますのでしばらくお待ちください。

それでは、菅内閣官房長官から御挨拶を頂きます。

(菅内閣官房長官)

本日、これまでの本会議での議論を踏まえて、一日も早い首里城の復元に向けて、基本的な方針を決定いたしました。

首里城の今般の復元に向け、詳細な時代考証に基づく前回復元時の基本的な考え方を踏襲し首里城を復元していくことを原則として、その上で、前回復元後に確認された資料や材料調達の様相の変化等を反映するとともに、今般の火災を踏まえた防火対策の強化等を行います。

また、これまで復元に携わってきた沖縄の有識者の方を含めた技術的な検討の場を内閣府沖縄総合事務局に設け、国土交通省等の関係省庁と連携しつつ、沖縄県民の意見を十分に反映できるよう沖縄県の参画を得ながら検討を進めます。

政府は、こうした基本的な方針の下、関係省庁における検討を進め、技術的な検討の場における議論も踏まえて、本年度内を目途に、首里城正殿等の復元に向けた工程表の策定を目指します。

首里城は、沖縄の皆さんの誇りとも言える、極めて重要な建造物です。政府として、引き続き、沖縄県や地元の関係者、有識者の方々と共に、国営公園事業である首里城の復元に向けて、責任を持って取り組んでまいります。

関係大臣は、密接に連携し、予算措置を含め、早期復元に向けて必要な措置を講じていただくとともに、観光振興や復元過程の公開などの地元のニーズに対応した施策を進めていただきたいと思います。

(衛藤内閣府特命担当大臣)

ありがとうございました。プレスは退室願います。

それでは、本日の首里城復元のための関係閣僚会議は、これで閉会したいと存じます。お忙しい中、誠にありがとうございました。